

第6回 神岡地域協議会 会議録

日 時 平成25年3月27日(水)
午後3時30分～
場 所 神岡庁舎3階 大会議室

出席委員(11名) 石山美恵子、工藤昌子、今 裕子、齊藤兼光、齊藤博伸
齊藤 劭、佐藤美紀子、佐藤康晴、鈴木和栄、竹原健子
武藤良仁

欠席委員(5名) 小田原 博、齊藤由紀、進藤純雄、高橋菜穂子、渡部聖登

1. 開 会 市民サービス課 参事 小笠原政夫
本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
定刻になりましたので、ただ今から平成24年度第6回神岡地域協議会を始めさせていただきます。
最初に、鈴木会長からごあいさつをお願いします。
2. 会長 あいさつ 神岡地域協議会 会長 鈴木和栄
平成24年度の最後の協議会、そして私たちの任期の最後の協議会ということでもあります。今日、全員出席できないことは残念ですが、昨日までの天気と違って今日は私たちを祝福しているようなすばらしい天気となりました。
今日は、今まで4年間の集大成ということで、皆さんから活発なご意見をうかがいたいと思っております。
3. 支所長あいさつ 神岡支所 支所長 鈴木直樹
本年度最後となります、第6回目の地域協議会をお願いしましたところ、委員の皆様には年度末の時節柄 何かとご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
地域協議会は、年6回開催することになっており、事務局では懸命に順守いたしまして、当初の計画どおり6回の協議会が開催できました。これも偏に協議会委員の皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。
さらに、本協議会の運営に関しても円滑に処理できましたことは、委員各位のご理解と適切にご指導があつてのことと存じます。
平成24年度が終わるに当たり、誠にありがとうございました。

さて、本日の協議会でご審議いただく案件は、2件です。委員の皆様のお手元に配布された資料のとおりでありまして、その詳細内訳と

して、平成24年度地域枠予算事業で補助金申請が1件、さらには、同じく地域枠予算事業実績である平成24年度分の執行状況も合わせて報告いたします。

2件目として、平成25年度地域枠予算の実施計画（案）に関してのご協議もお願いするものであります。

よろしくご審議の上、ご決定くださるようお願い申し上げます。

前回の第5回地域協議会（1月24日）以降の神岡支所管内の主な動きについて簡潔にご報告申し上げます。

2月9日（土）に大仙市の地域協議会委員研修会が大曲市民会館・小ホールを会場に開催されました。時節柄ご多忙の中、神岡地域協議会委員をはじめ、約180人が出席し、「秋田・大仙の魅力と地域づくりを考える」をテーマに市民と行政がそれぞれの役割と責任を担い、協働しながら活力あふれるまちづくりを推進することを目指した研修でした。

2月15日（金）第7回大仙市芸術文化賞の表彰式が行われました。功労賞は、地域の芸術文化に貢献した人が対象で、今年度は4名の方々と奨励賞の1名が讃えております。

長年にわたり「おもと」の魅力を紹介していることが評価され、神宮寺荒屋の長沢秀二氏が受賞されました。

2月21日（木）大仙市観光物産協会の設立調印式が行われました。

当日は、大曲観光物産協会と西仙北地域など五つの観光協会の代表、協会がなかった神岡と南外の地域代表者が同席し、趣意書に調印しました。

年間を通しての観光交流人口の増加、効率的な事業展開、大仙市の魅力を国内外に発信し、地域経済の振興に結びつけるため、組織の一本化により、「オール大仙」でネットワークの構築、情報収集や発信能力の充実に目指しています。

本協会は、任意団体で会費は、個人会員年額二千円、団体・法人会員は一口五千円とし、口数に制限は設けていません。事務所は、大曲通町の市民交流センター・花火庵に置き、4月1日から活動を展開することになっております。

この主旨にご賛同する方は、大仙市観光物産協会の個人会員になっていただければありがたいと思います。

この度、第62回秋田県自作視聴覚教材発表会で、神宮寺上町の佐々木昭元氏と北檜岡沼の上の鈴木三郎氏が制作したビデオ教材「野鳥食べ物と体のつくり」が最優秀賞を受賞しました。

なお、受賞したDVDは、文部科学省が主催する全国大会に県代表として出品されることになっております。

また、お二人が野鳥をテーマに制作したDVDは13本目で、市内の幼稚園や保育園さらに小・中学校でも教材として活用されており、

二年前の県大会でも最優秀賞を受賞され、今回で二度目の快挙となりました。

以上で、ご報告を致しまして、開会に当たってのあいさつに代えさせていただきます。

小笠原 参事 このあとの会議の議長は、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、鈴木会長にお願いします。

鈴木 会長 それでは会議を始めます。
本日、小田原委員、齊藤由紀委員、進藤純雄委員、高橋委員、渡部委員から欠席の届けが出されております。委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。
次に会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は、工藤昌子委員、佐藤美紀子委員にお願いいたします。
続きまして、議題に入ります。平成24年度地域枠予算事業実績について、事務局から説明をお願いします。

【以下の事柄について説明 今野主幹】

○ 平成25年度地域枠予算事業実施計画（案）について

鈴木 会長 平成25年度の地域枠予算というのは、各班に分かれて議論していただいたと思いますので自分の担当する班についてはわかると思いますが、全般的に皆さんからご質問などを受けたいと思います。

齊藤兼光委員 前回の運営委員会の時にお話をしたのですが、計画を作る段階で事務局にはご難氣をかけています。まだまだ浸透していないところがあるのではないかと思いますので、この地域枠にさらに検討を加えて、うまく活用しながらよりよい地域活動ができるような予算執行をしていただければありがたいと思います。

鈴木 会長 全般的なご意見をいただきました。それに対して事務局の方からなにかありますか。

伊藤 課長 平成25年度は609万5千円で、24年度とほぼ同額の地域枠予算が確保されています。今、齊藤委員がお話しされたように大まかな地域枠予算の事業計画でありますので、平成25年度に入ってからまた、こういうものに使用すべきではないかというような事項が生じてくると思います。その時には、柔軟性を持って、より有効な活用方法を委員の皆様とご協議をして執行させていただきたいと思っております。

鈴木 会長 平成24年度の自治会の要望事項に対して市からの回答がきたということになっておりますが、その点について何か説明することはありますか。

齊藤 勅委員 平成24年度の対話集会の要望に対しての中間報告を当局の方からいただきました。その中間報告を、この前の役員会の際に各地域の方に配布しておりますので、25年度の総会の時に各地区からいろいろなお話がでてくれば、それを改めてご報告するということになります。

鈴木 会長 どうもありがとうございました。武藤さん、何かありませんか。

武藤 委員 先日、旧北神小学校の「音楽交流館」の利用団体の協議会を立ち上げることで話し合いをしました。その会議は、3団体と地域代表、北檜岡公民館の方々に参加し、今後の使い方について話し合わせ、まず自主的に管理しながら協力しあって使用していきましようということになりました。

とりあえず利用者協議会を立ち上げて、会長1人、副会長1人、監事2人ということで、今後、運営に当たっていくことになりました。これからどのようにやっていくかは、まだ自分たちでもはっきり見えていない状況ですが、利用者同士が話し合ったり、譲り合ったりして使っていけるよう、今後話し合いがされることになっています。

鈴木 会長 ちなみに、協議会の会長さんは武藤さんをお願いすることになりました。地域の活性化のために頑張ってもらうことになりますのでよろしく願いいたします。

齊藤博伸委員 意見ではないのですが、実施計画案の予算の関係について前年度比較があれば助かります。新年度にでも、検討していただければありがたいです。

今野 主幹 平成25年度の地域協議会の際にわかりやすいように資料をお出ししたいと思います。

鈴木 会長 よろしいでしょうか。

平成25年度地域枠予算実施計画（案）について、皆さんから承認を求めますがいかがですか。

異議無しということで、承認したいと思います。

その他ということで、事務局から何かありませんか。

伊藤 課長 一つ報告事項があります。以前から要望のありました宇留井谷地の信号機の問題です。

平成12年度に信号機が設置されたのですが、聞いた話によりますと、そこで事故が起こったために信号機は手動のままになっているとのことです。しかし、平成12年度か13年度の頃から手動式ではなくて車両がきたら反応するような感應式の信号機に交換して欲しいという要望がずっと支所に来ておりました。支所としても大曲警察署の方に毎年のように要望していたのですが、なかなか感應式型の信号機の設置まではいきませんでした。

13号線の拡幅工事の合わせて、平成24年度になってから再び、大曲警察署の方に従前にもまして要望したところ、今の4月1日から感應式ではありませんが早朝の時間帯、一番混む時に宇留井谷地側から国道に入る時に信号が青に変わる定周期型という信号機が設置されることになりました。1時間に30回、1回の青信号の時間が27～8秒と聞いております。

町内会の方でその時間帯を決めてくだされば信号機のセットはいかようにもできるということでしたので、早速、宇留井谷地の町内会長に連絡しました。町内会では役員会を開きまして午前6時45分から7時45分までの1時間を宇留井谷地方面からの車両が国道に入る時に青に変わるようにしていただきたいとのことでしたので、そのむね大曲警察署には報告してあります。

大曲警察署の方から2人みえまして、間違いなく4月1日からは今ある信号機ではなく、定周期型信号機に変更されるという連絡がありましたので報告いたします。

鈴木 会長
伊藤 課長

戸月に入る所の信号機は無くなったのですか。

戸月に入る所の手動の信号機はまだありますが、ほとんど利用されていないということで、宇留井谷地から要望のあった際に、少しでも県の負担を減らせるよう、昨年の秋に手前の信号を撤去して良いかの協議をお願いしました。

しかし、24年度から小学校統合でスクールバスが運行されているため、戸月地区の子どもさんで、スクールバスの集合場所としてどうしてもそこを使うという家庭がありました。利用者がいる以上、はずすことはできないだろうということになり、あのままの状態でも存続していくことになりました。

鈴木 会長

その他に何かありませんか。

それでは一旦、事務局の方へお返しします。

小笠原 参事

閉会に先立ちまして、地域協議会委員の皆様の任期満了に対しまして、鈴木支所長よりお礼の言葉があります。

【お礼の言葉 鈴木支所長】

鈴木 会長

支所長の鈴木さん、定年ということで本当にご苦労さまでした。その他に小笠原さんも、これも何かの縁でしょうか、神岡で最後を迎えることができたということですので、これからも遊びに来てください。伊藤課長も今度は、支所長ということで重い地位につくこととなりますので、ここで過ごした経験を生かして更なる活躍をお願いしたいと思います。

私たちの方でも、今回、大幅に入れ替わるということですので、皆さんから最後のつもりで一人ずつあいさつをお願いしたいと思います。

石山 委員

私も地域協議会委員に推薦されて、ここに来てから8年になりました。この8年間の間に自分のためではなく、地域の為に何ができたかを考えてみたところです。

協議会の地域枠予算のことも、この地域は大仙市の中でも比較的狭く、あちこちに散らばらず一つにまとまっている地域なので、この地域性をこれからも出していければいいかなと思いました。

私がかかわってきた愛育会ですが、それもここにしかないという地域の特徴があります。これをもっと盛り上げていくにはどうしていったら良いかを他の会員の方も考えていましたが、何かを行うにしても参加する会員の方が少ないので、これから神岡の愛育会の必要性をもっとアピールできたら良いのかなと思いました。

8年間、どうもありがとうございました。

今 委員

私もこの会の発足当時から8年間、お世話になりました。

その当時は、私の子ども達も小学生、中学生ということでPTAからの選出でした。合併して学校関係の予算が削られてしまっていたの

で、保護者からの声を少しでもこちらの会の方にお届けしようと思って頑張りましたが、当初は予算から削られてしまったものを上げると全く予算化されないという非常に厳しいもので、なかなか皆さんのためには役に立てなかったと思っています。

先日の班会議の方でも話題になりましたが、時代を担う子どもたちが一人でも多く神岡に戻ってきてもらえるように、そしてこの地域が過ごしやすい地域になるために子ども達と市の職員の方々が会話できる機会があるととてもいいですねという話が出ましたので、それができるように是非、お願いしたいと思います。

8年間、お世話になりました。

齊藤兼光委員

縁あって平成17年から地域協議会に参加させていただきました。

振り返ってみますと、この8年間の間に市の方の仕事をいろいろさせていただきました。昨年から統合後の神岡小学校の学校教育協議会に参加して欲しいという声がかかりまして、そちらの方にも参加させていただいています。

支所の皆様についてはこの後も、いろいろな面でご指導をもらうこともありますのでよろしくお願いたします。

地域枠は活用の仕方によっては、まだまだ喜ばれる内容の事業ができると思いますので、何とか頑張っていたきたいと思います。

齊藤博伸委員

私も平成17年から委員をしております。当初は、社会福祉協議会というすぐ隣の事務所におりましたけれども、途中から異動となりました。職場が町内にないと地域の情報量がかなり減り、情報に疎くなってしまいました。

神岡地域協議会については他の地域の情報を聞きますと、予算の取り合いやその地域内のいがみ合いなどがあるということも聞いています。この協議会においては、委員の皆さんが一生懸命神岡の全体を考え、検討してくださっていますので、とても良い協議の場だと思いました。

ありがとうございました。

佐藤康晴委員

長い間、やらせていただきました。当初、農協青年部の支部長として呼んでいただきましたので、支部長が替わった際には交代だと思ったのですが、2期目もやってくださいと言われ、2期努めさせていただきました。

この協議会や地域になにか貢献できたのかなと考えますと、あまり発言することもできず、貢献することもできなかったため心苦しいところもありますが、8年間ありがとうございました。

竹原 委員

8年間、お世話になりました。私は当初、農協の女性部のフレッシュ部会の代表ということで参加しました。

この地域協議会では、自分の意見を話すという難しさをたいへん強く感じました。いまだに考えていることをうまく話せずに終わってしまったように思います。

これからも、この地域協議会が市民のためによりよくなっていくことを願っております。

本当にありがとうございました。お世話になりました。

齊藤 劭委員

平成24年の4月からこの会に参加させていただきました。全部に参加する義務があると頑張ってきましたが、12月に熊野神社のしめ縄奉納会の関係で1回だけ欠席をさせていただきました。

1年間、どういう役割なのかということも十分わからずに発言させていただいたりしておりますが、地域枠予算というのは何年前からなされ、どのようなかたちで変化し、現在のこの予算執行になっているかという流れは勉強不足のためまだ把握はしておりませんので、何もわからないままの一年間でした。

本当にありがとうございました。

武藤 委員

大仙市の商工会青年部代表ということで、この会に2期参加させていただきました。

この地域協議会に参加させていただいて、神岡地域の中でどんなことが起こっているのかを知り、いろいろなことを学ばせていただいた8年間だったと思います。

商工会代表ということで入りましたが、地域の人たちのための商工業として、この会の中で何ができたかなと考えると落第点だったのではないかと反省しております。この会に2期お世話になりましたが、今後もこの地域の中で仕事をしながら、地域のためにいろいろ頑張っていきたいと思っております。

8年間、どうもお世話になりました。

工藤 委員

私の場合は、民生委員である小林さんから引き継いだかたちで地域協議会の委員になりました。ここに来て本当に何もわからず、話が見えないこともありましたが、かえって勉強させてもらったような感じです。

先ほど石山委員のお話にもありましたが、この地域は、とても小さな地域ですので、少しオーバーに言いますと皆が顔を知っているような地域だと思っております。ですから、きめ細やかな事業ができるのではないかと思います。

これからもっと私も勉強をして、地域のためになるようなことを見つけていきたいと思っております。ありがとうございました。

佐藤美紀子委員

仕事の関係で、なかなかこちらの協議会に参加できず、また何も貢献できず申し訳なく思っております。

皆さんのお話にもありましたが、この会に出て、神岡地域のことが全然わかっていなかったことを痛感した4年間だったと思います。

ここで協議されること一つ一つが、それは何処のことで話し合われているかを知ること、本当に多くを学ぶことができました。

神岡地域も少子高齢化というのは加速的に推移しているところです。どうしても避けられない現実ですが、高齢者だからといって家の中に

閉じこもらず、高齢者の知恵を絞って、出し合って元気な地域を神岡から発信できればいいのではないかと思います。小さな地域であればこそ、そのようなまとまりのできるのではないかと感じているところです。

今後は神岡地域の一住民として、地元から発信できるものはないか、お役に立てることはないかを考えながら、この地域でやっていければと思っております。

4年間、お世話になりました。ありがとうございました。

鈴木 会長

その他に、小田原委員、齊藤由紀委員、進藤純雄委員、高橋奈穂子委員、渡部委員が今日欠席ですが、同じように「ありがとうございました」と言う声が聞こえてきましたので、代わりに報告しておきます。

私も2期、委員として、会長として努めさせていただきました。来年のことはわかりませんが、たぶん新しい方になるのではないかと思っております。

竹原さんがお話ししましたが、なかなか発言する機会がなかったというのは、偏に会長である私の至らぬところだと思っております。次に会長になる方には、そのようなことを申し添えてバトンタッチしたいと思えます。

とにかく会長の仕事は皆さんの意見を吸い取ることだと思っております。私も、2期でようやく悟ってまいりました。この点も新しい方に申し添えておきますので、更に活発な協議会となると思えます。

会長を2期もやっていると、この楽しい役柄は私一人で独占してはいけないかと常に思っております。是非とも皆さんにも経験していただきたいと思っておりますので、もし、来年この場所で会える方は、私の言葉を思い出していただきたいと思えます。

本当にご苦勞様でした。

これもちまして第6回神岡地域協議会を終了させていただきます。

以上は、会議の内容を記したものであり、相違ないことを証するために下記に署名する。

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____